

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

変更

クレセント受力バーを追加しました。
クレセント受の調整時は、
一旦、取りはずしてください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

シーリングは必ず実施してください!

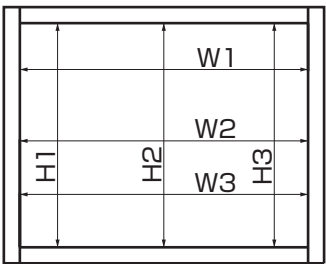
- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。
シーリングがされないと、**漏水の原因**となったり、家屋や家財を傷めるなど**重大事故につながるおそれ**があります。
- シーリング材は、脱アルコール形シーリング材をご使用ください。
(オプション品)
ポリサルファイド系はサッシが変色するおそれがありますので使用しないでください。

シーリング材

シーリングマーク

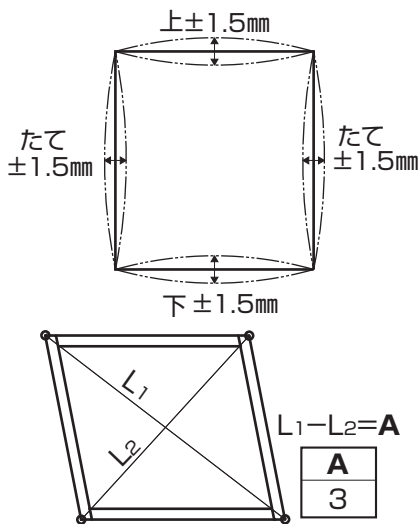
開口部の確認

- W1〜W3およびH1〜H3の最低3ヶ所を採寸し、**最小W、H寸法が発注W、H寸法と相違がないか**確認してください。
- 上下左右のたわみが図に示す範囲内であることを確認してください。
- 枠の対角差が図に示す範囲内であることを確認してください。



ポイント

- 施工時にすき間がある場合は、シーリング材で塞いでください。
- 開口部のたわみ量が範囲を超えている場合は、枠との間にスペーサを入れて調整してください。その際、できたすき間は、シーリング材で塞いでください。



本説明書は樹脂額縁納まりで説明しています。
タイル納まりは違う部分のみを記載しています。

1.障子の組立 完成品出荷の場合、本作業は不要です。

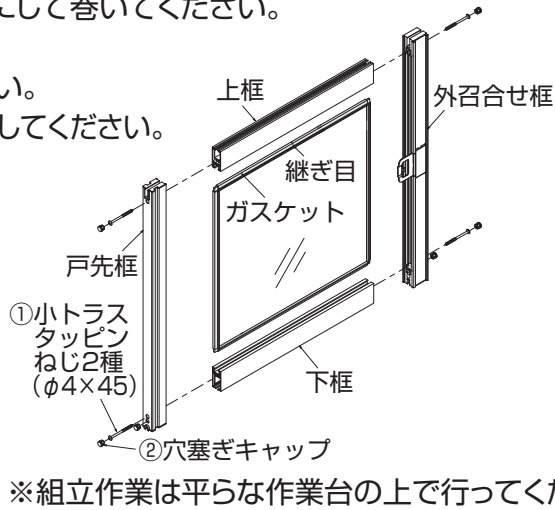
外障子 ■単板ガラスタイプ

- ①ガasket(同梱)を継ぎ目が上側になるようにして巻いてください。
- ②框をガラスに差込んでください。
- ③組立ねじを差込み、ねじを締め付けてください。
- ④ガasketが確実に挿入されていることを確認してください。

注意

ガasketを巻く際は、以下の2点を守ってください。守らないとガasketの縮みの原因となる場合があります。

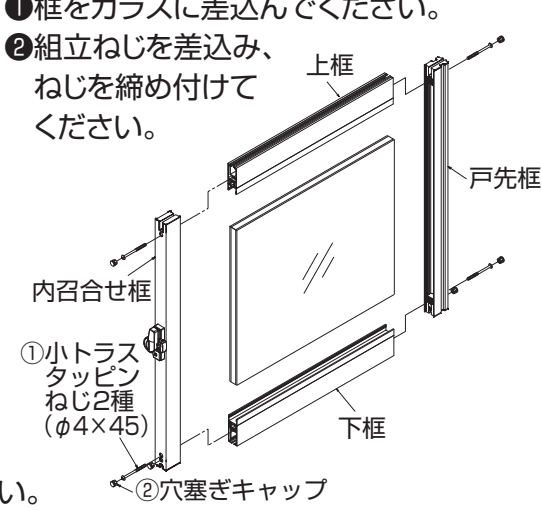
- 少し長め(1辺当り約3%程度)に余裕をとって巻く
- 引っ張りながら巻かない



※組立作業は平らな作業台の上で行ってください。

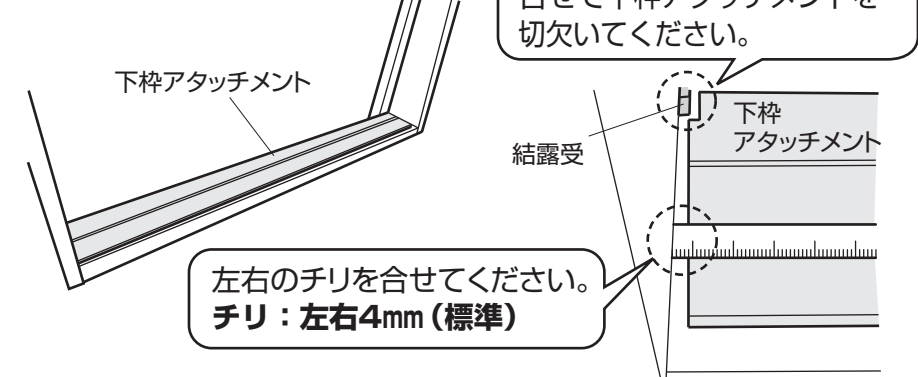
内障子 ■複層ガラスタイプ

- ①框をガラスに差込んでください。
- ②組立ねじを差込み、ねじを締め付けてください。

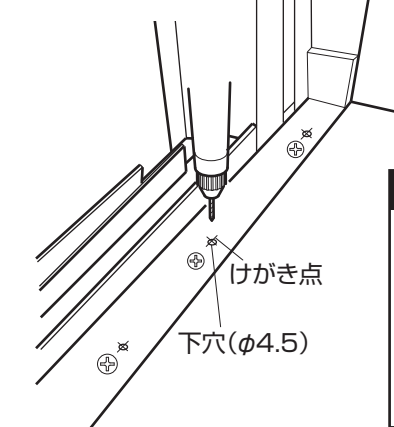


3. 下枠アタッチメントの取付

- ①下枠アタッチメントを仮置きしてください。



- ③一度下枠アタッチメントをはずして外窓アングルに下穴(φ4.5)を加工してください。



ポイント

ねじ穴位置が外窓アングルねじと干渉または近い場合は、外窓アングルねじをはずして下穴を加工してください。

外窓アングルねじ

下枠アタッチメント取付用ねじ穴

タイル納まり

下穴(最初φ3で加工し、φ7に再加工) 深さ(テンパ(厚さ) タイル用ドリル使用

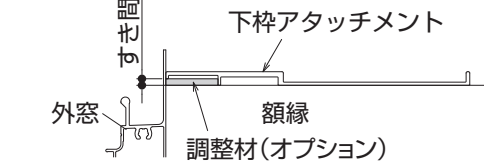
外窓アングル

タイル

テンパ(厚さ)

- ⑤下額縁の水勾配を確認してください。

- 水勾配が2°以上ある場合は、調整材(オプション)などを用いて、下枠アタッチメントを水平に取付けてください。
- 外窓のアングルがないなどで、下枠アタッチメント先端と額縁にすき間がある場合は、調整材(オプション)などを挟んでください。



ポイント

約100mmの位置で調整材厚さが3mm以下なら、2°未満なので調整は不要です。

調整材(オプション)

約100mmの位置に調整材を重ねて調整してください。

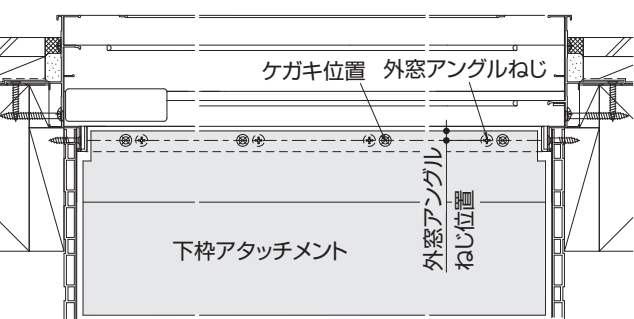
注意

調整材を使用する場合、調整材と下地(窓台)を両面テープを使用し固定してください。

住友スリーエム VHBテープ Y-4922

下枠アタッチメントの位置決め

下穴の出入り方向位置は、外窓アングルねじの位置を目安にしてください。



タイル納まり

外窓の立上がり到下枠アタッチメントを合わせてください。

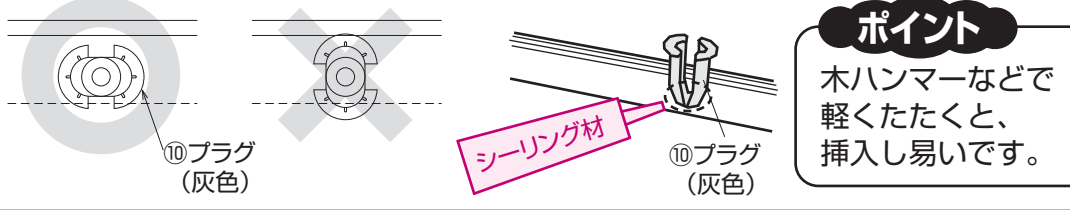
外窓立上がり部

下枠アタッチメント

- ④下枠アタッチメントが下地材に直接ねじ止めできるか確認してください。止められない場合は下記を参考にしてください。

下地材に直接ねじが止められない場合

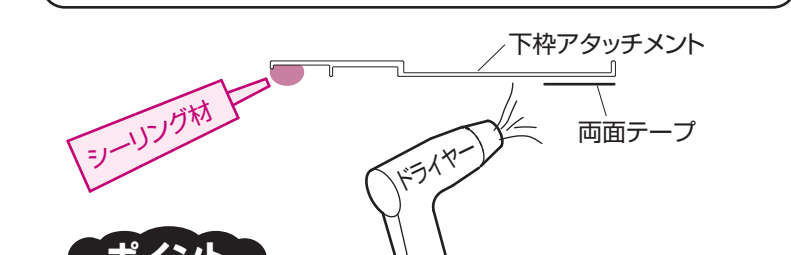
- 下地材がピッチ間隔で取付いているなどで、直接下地材に止められない場合は、下穴(φ8、深さ：30mm)を再度あけ直して、プラグを取付けてください。
- プラグは、**下図の向きで挿入**し、挿入する時に、プラグの着座面とアングルの間をシーリングしてください。**向きが違くと、ねじが効かない**可能性があります。



- ⑥下枠アタッチメント全長にシーリング材を先打ちし、裏面の両面テープをはがして圧着してください。

ポイント

下枠アタッチメントを取付けた時、額縁にシーリング材がはみ出す位に多めに先打ちしてください。

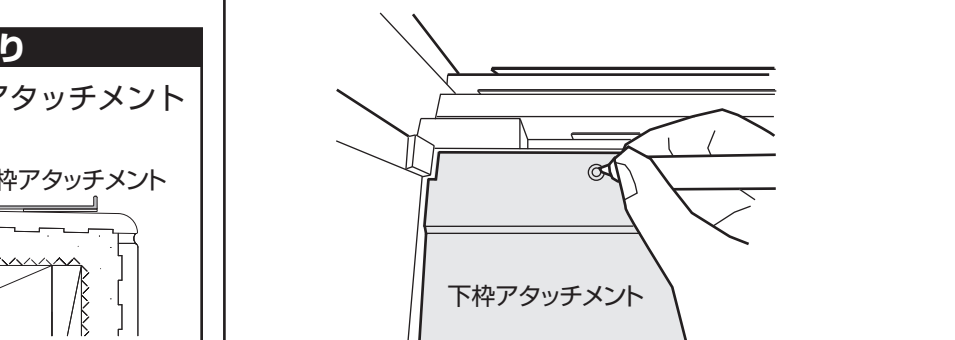


ポイント

両面テープの貼付は

- ・気温10℃以下の場合ドライヤーで温める
- ・100mmの幅に対し2.0kgの力で圧着してください。

- ②下枠アタッチメント取付用の下穴位置を下額縁にけがいてください。



タイル納まり

穴の深さに合わせて、**プラグをカット**して挿入してください。
プラグの小口をシーリングしてください。

⑬プラグ(緑色)

⑬プラグ(緑色)

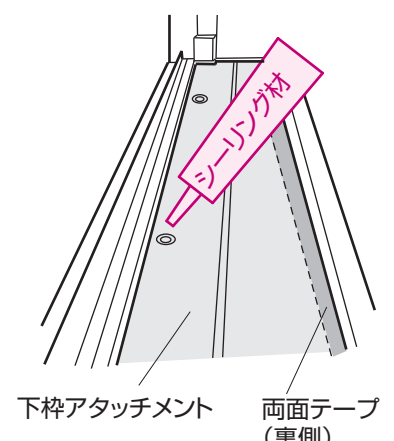
タイル

テンパ(厚さ)

外窓アングル

シーリング材

- ⑦ねじ穴にシーリング材を先打ちしてください。



- ⑧下枠アタッチメントをねじ止めしてください。

タイル納まり

プラグにねじ止めしてください。

⑦皿タッピンねじ1種(φ4×40)

⑮皿タッピンねじ1種(φ4×20)

チェックシート

取付時、本文中に表示している「**チェックマーク**」の確認をしてください。

	項目	チェック欄
①	トルク調整をしましたか?	
②	ねじれ・倒れがないことを確認しましたか?	
③	内外障子の上框と上枠のかかり代を確認しましたか?	
④	内障子がはずれないことを確認しましたか?	

注意

枠取付時、電動ドライバー・エアードライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。
1.0〜1.5N・m(10〜15kgf・cm)程度

チェック

同梱部品一覧

樹脂額縁納まり

番号	①	②	③	④	⑤	⑥
姿図						
品名	小トラスタッピンねじ2種(φ4×45)	穴塞ぎキャップ	はずれ止め	はずれ止めライナー	小トラスタッピンねじ1種(φ4×45)	プラグ(灰色)
品番	BM-4045N	K-38558	2K-36844	2K-48728	AM-4045	2K-36838
個数	8	12	2	4	2	4
備考	障子組立用	障子組立用			はずれ止め取付用	上枠、はずれ止め取付用

	ユニットバス壁厚0.5〜3mmの場合に使用			ユニットバス壁厚4〜10mmの場合に使用 下地材に直接ねじ止めできない場合に使用	
番号	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
姿図					
品名	皿タッピンねじ1種(φ4×40)	ウェルナット	トラスタッピンねじ(φ4×16)	プラグ(灰色)	皿タッピンねじ1種(φ4×40)
品番	AF-4040D7	2K-21413	EM-4016	2K-36838	AF-4040D7
個数	5〜7	3〜5	3〜5	6〜10	3〜5
備考	上枠、下枠アタッチメント取付用	額縁下部補強材取付用	額縁下部補強材取付用	額縁下部補強材、下枠アタッチメント取付用	額縁下部補強材取付用

タイル納まり

番号	①	②	③	④
姿図				
品名	小トラスタッピンねじ2種(φ4×45)	穴塞ぎキャップ	はずれ止め	はずれ止めライナー
品番	BM-4045N	K-38558	2K-36844	2K-48728
個数	8	12	2	4
備考	障子組立用	障子組立用		

番号	⑫	⑬	⑭	⑮
姿図				
品名	丸木ねじ(φ3.8×25)	プラグ(緑色)	皿タッピンねじ1種(φ4×25)	皿タッピンねじ1種(φ4×20)
品番	WR-3825	2K-29332	AF-4025D7	AF-4020D7
個数	2	7〜9	2	3〜5
備考	はずれ止め取付用	上枠、はずれ止め、下枠アタッチメント取付用	上枠取付用	下枠アタッチメント取付用

2.四方額縁の清掃

四方額縁をウエスなどで拭取り、汚れや水分を残さないでください。

お願い

汚れや水分が残っていると、両面テープの粘着力が弱くなり、はがれの原因になります。

ガasket一覧

使用ガラス厚	3mm	4mm	4mm(スチロール樹脂板)
姿図			
品番	3K-21063	3K-21064	K-6426S

使用ガラス厚	5mm	6mm
姿図		
品番	K-20358	2K-23671

W=1000以下の場合、たて枠・上枠の取付方法が異なります。別紙施工説明書を参照してください。

お願い

枠取付け時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

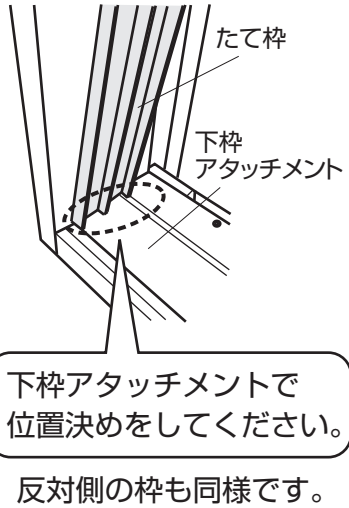
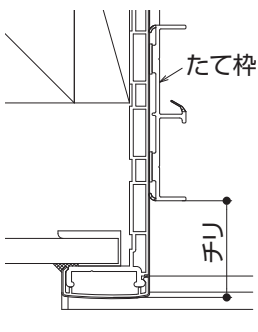


4. たて枠の取付

①たて枠を仮置きして、位置をけがいてください。

ポイント

上下端部と中央部のチリを合せてください。

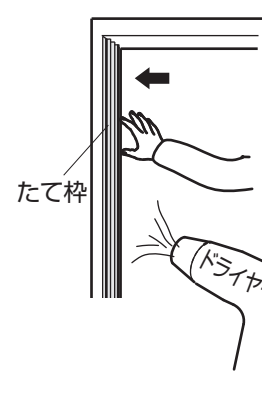


下枠アタッチメントで位置決めをしてください。
反対側の枠も同様です。

②たて枠裏面の両面テープをはがし、圧着してください。

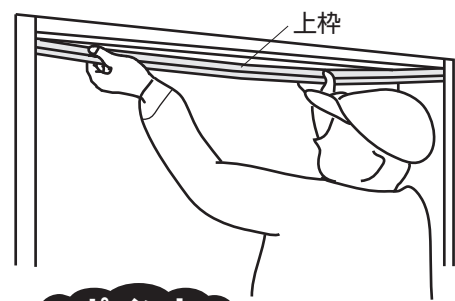
ポイント

両面テープの貼付は
・気温10℃以下の場合
ドライヤーで温める
・100mmの幅に対し
2.0kgの力で圧着してください。



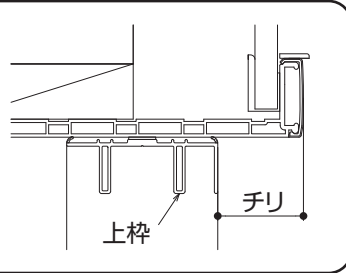
5. 上枠の取付

①上枠を仮置きしてください。

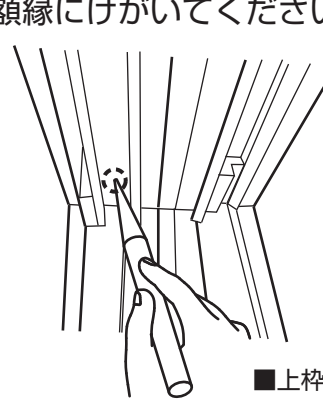


ポイント

両端と中央部のチリを合せてください。



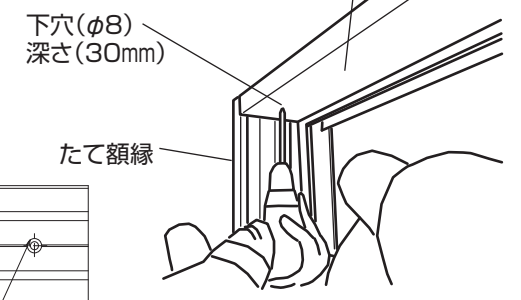
②上枠取付用ねじの下穴位置・はすれ止め位置を上額縁にけがいてください。



③一度上枠をはずして、上額縁に下穴(φ8)を加工してください。

タイル納まり

下穴(最初φ3で加工し、φ7に再加工)
深さ(テンパ厚さ)
タイル用ドリル使用



上額縁
たて額縁
上枠取付用穴
はすれ止め位置

④プラグを挿入してください。

シーリング

プラグの着座面とアングル間をシーリングしてください。

タイル納まり

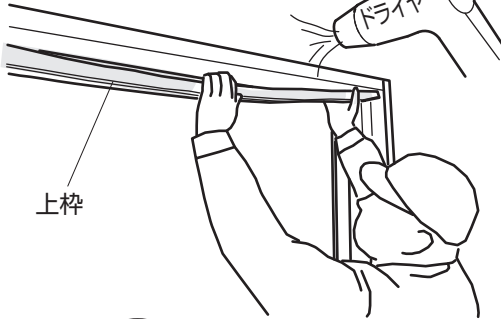
プラグ挿入後、プラグの小口をシーリングしてください。
プラグは緑色



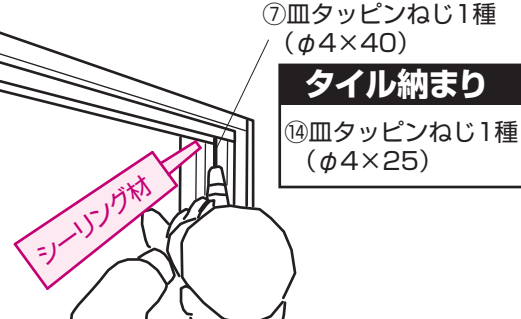
ポイント

木ハンマーなどで軽くたたくと、挿入し易いです。

⑤上枠の両面テープをはがし、圧着してください。



⑥ねじ穴にシーリングを注入し、プラグにねじ止めて上枠を固定してください。



⑦皿タッピンねじ1種(φ4×40)
⑧皿タッピンねじ1種(φ4×25)

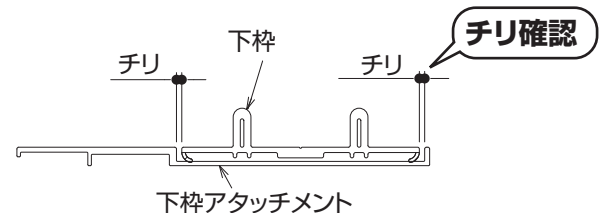
6. 下枠の取付

下枠の両面テープをはがし、圧着してください。



ポイント

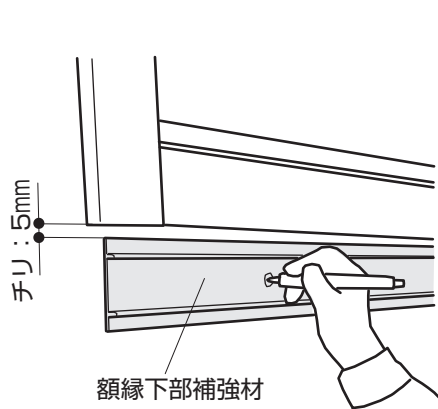
両面テープの貼付は
・気温10℃以下の場合
ドライヤーで温める
・100mmの幅に対し
2.0kgの力で圧着してください。



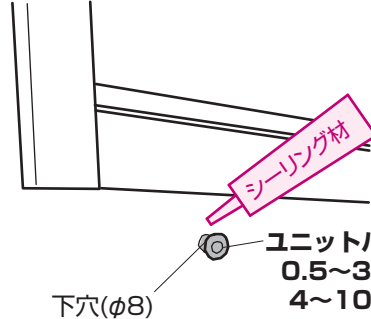
7. 額縁下部補強材の取付 樹脂額縁納まりで、額縁下部補強材が必要な場合

下額縁の見付面が壁パネルにねじ固定されていない、または、ねじ固定されているか不確かな場合、額縁下部補強材が必要です。

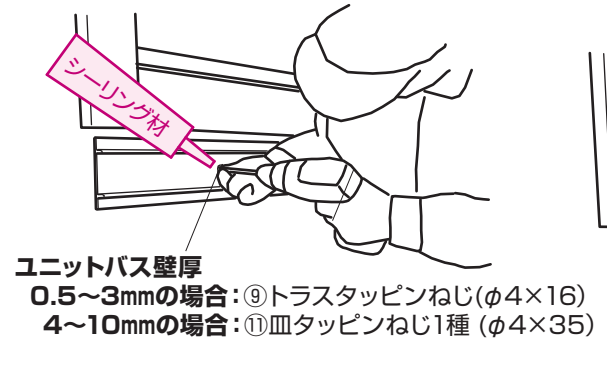
①額縁下部補強材を仮置きして、下穴位置をけがいてください。



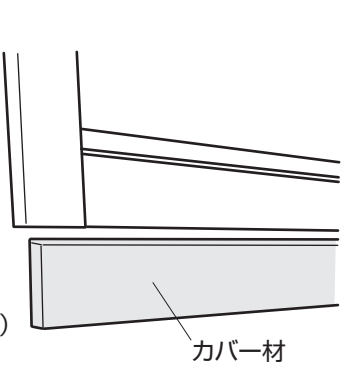
②下穴(φ8)加工し、シーリング材を先打ちして、ウェルナット(プラグ)を挿入してください。



③額縁下部補強材を取付け、シーリング材を先打ちしてねじで固定してください。



④カバー材をはめ込んでください。(スナップ固定)



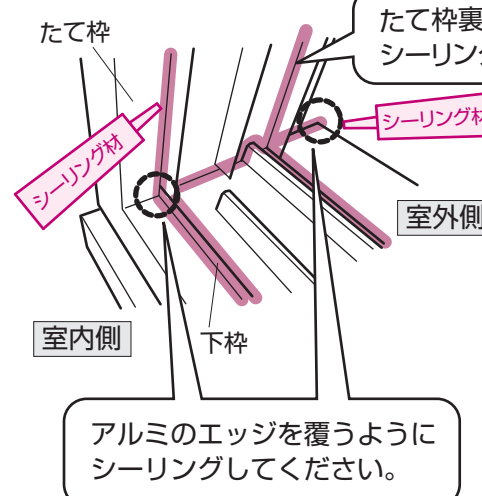
注意
●壁パネルに下穴(φ8)加工する際は、壁内のリモコンの配線に気をつけてください。
●加工をする際に出る、切り粉は“もらい錆”の原因となりますので、必ず掃除をお願いいたします。

切り粉の落下キャッチの裏技
穴加工位置の真下に、テープを貼付けてください。テープは下半分を貼り、上半分は手前に傾けるようにしてください。切り粉がテープでキャッチでき、掃除が楽になります。

8. シーリング

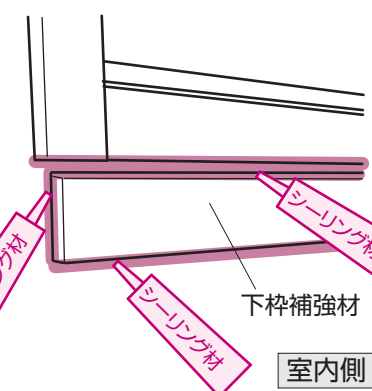
下枠コーナー部

図は下枠左コーナー部を表しています。右コーナー部も同様にシーリングしてください。



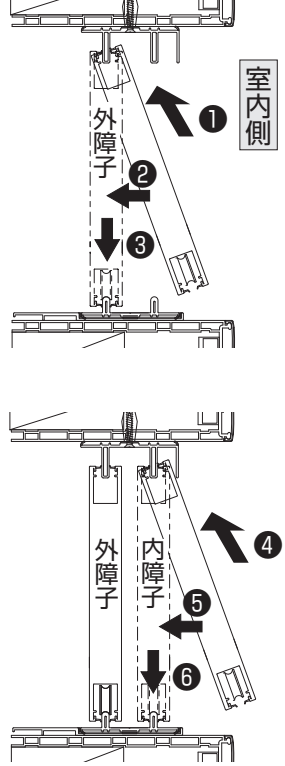
下部補強材まわり

樹脂額縁納まりのみ



9. 障子の吊込み

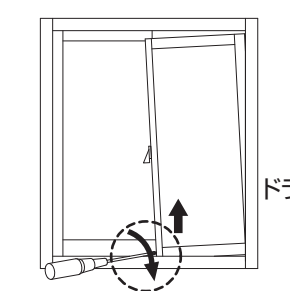
室内側より、外障子、内障子の順に枠に吊込んでください。



10. 調整

戸車の調整

建付調整は、戸車の高さを調整することで行えます。
右回転(時計方向) ... 上がる



クレセントの調整

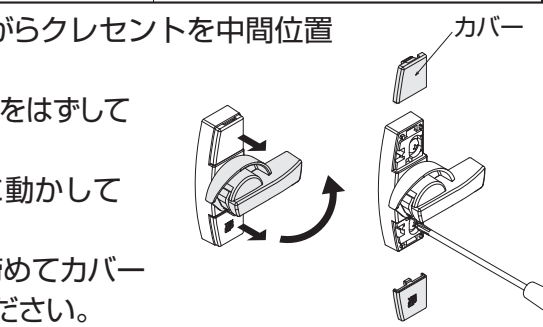
解錠時

トリガー
解錠時：トリガーがフリーだとクレセントは回転しません。

施錠時

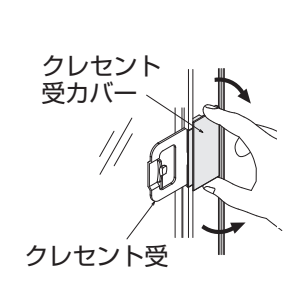
クレセント受
施錠時：障子をきちんと閉めるとトリガーが引込み、施錠が可能となります。

①トリガーを指で押えながらクレセントを中間位置まで回してください。
②クレセントの上下カバーをはずしてください。
③ねじをゆるめ、上下に動かして調整してください。
④調整後、必ずねじを締めてカバーを元の位置に戻してください。



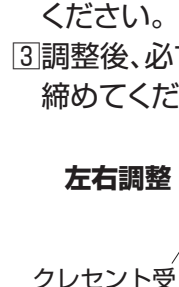
クレセント受の調整

①クレセント受カバーをはずしてください。



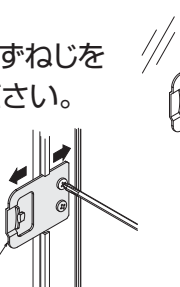
変更

②ねじをゆるめ、左右に動かし、調整してください。



左右調整

③調整後、必ずねじを締めてください。



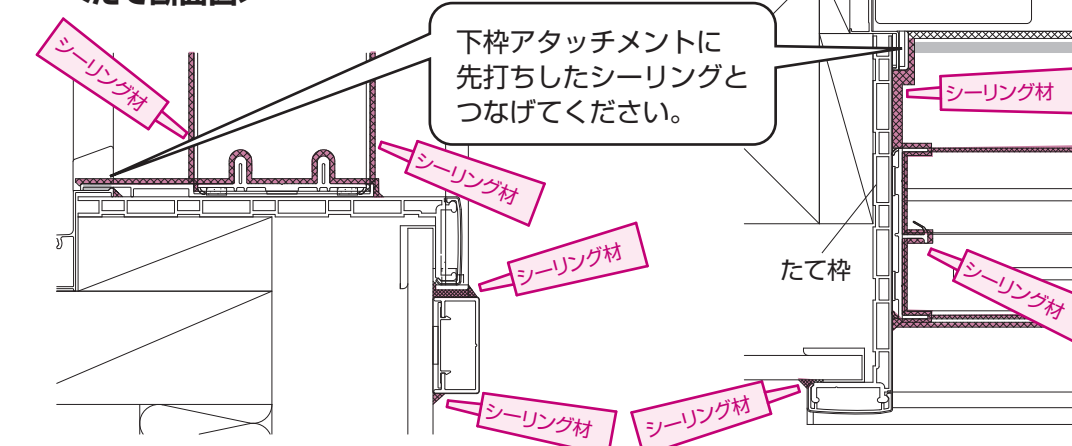
ポイント

クレセント受けカバー側面上下にある突起部を側面から押込んでください。

注意
クレセント施錠時に、クレセントの皿とクレセント受がしっかりと当たるように調整してください。離れている場合、性能低下のおそれがあります。

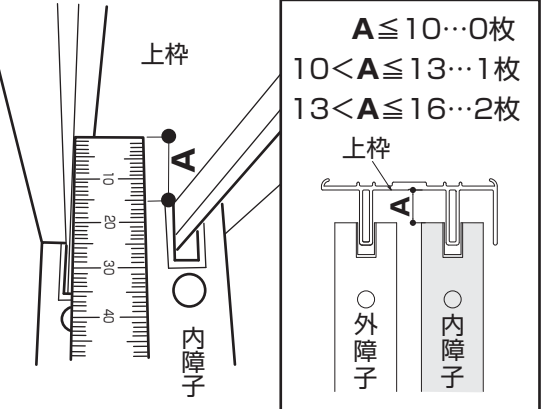
<たて断面図>

<横断面図>

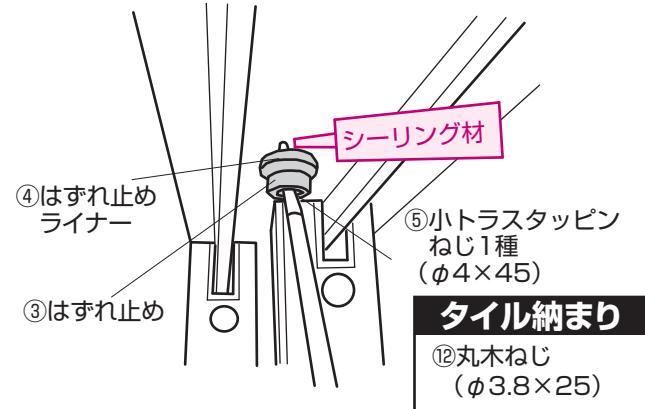


11. はすれ止めの取付

①上枠と内障子上端とのチリを測定してください。チリに応じて、はすれ止めライナーの枚数を変えてください。



②はすれ止めを取付けてください。取付ける前に、ねじ穴にシーリングを先打ちしてください。



③開閉確認、内障子が「9.障子の吊込み」の逆の手順ではずれないことと、内外障子の上端と上枠のかかり代が5mm以上であることを確認してください。

